

2022.2.25

ISO/TC 194 国内委員会

WG2 活動報告

京セラ 吉原

1) WG2 の現状報告

ISO10993-14 (2001) (セラミックスからの分解生成物の定性および定量化) の改訂作業は未だ着手されていない模様。その他の規格の見直し等の作業はなし

2) TC106 (歯科全般) 活動状況

第 57 回 ISO/TC106 年次会議 (Virtual)

8 月 23 日 (月) ~ 9 月 3 日 (金)

日本からのオンライン参加者は 94 名 (昨年は 81 名)

◆TC 106/WG 10 (Biological evaluation) 報告

ISO/TC 106/WG 10 (生物学的評価) 座長 Gottfried Schmalz が、TC 106 総会への TC 106/WG 10 会議の結果及び推奨事項 (ISO/TC 106/WG 10 会議報告書 N1371 文書) を報告した。

決議 2021-01

修正した ISO/CD 3990 (歯科-修復材料、合着用セメント、小窩裂溝封鎖材及び矯正用接着/合着材料の抗菌活性評価) (N208 文書に提出済コメント及び WG ウェブ会議でのコメントを含む) を 2021 年末までに DIS 3990 として提出する。

→国内関係者に回付中 (コメント期限: 4/21)、エキスパート: 朝日大学・玉置教授

決議 2020-02

WG 10 は、TC 106 に対して、ISO 7405:2018 改訂の決定を提案する。ISO 7405 の改訂は ISO データベースに登録する。スコープの変更はしない。附属書 D※は、提出済コメント及び会議で検討した課題に基づいて修正する。修正版を CD として提出する。開発期間は 36 か月として、プロジェクトリーダーは Gottfried Schmalz 先生で、各ステージの登録期限は次のとおり。

・ CD : 2022-04-01 ・ DIS : 2023-03-01 ・ FDIS : 2024-05-01 ・ IS : 2024-09-01

※附属書 D : レジン系材料からのモノマー毒性 in vitro 評価試験 (日本提案)

第 58 回 ISO/TC106 年次会議

日 程 : 2022 年 9 月 26 日 (月) ~ 30 日 (金)

場 所 : ドイツ、ベルリン

ホスト : ドイツ規格協会 (DIN)

以上